

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月14日

**【四半期会計期間】** 第45期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 平安レイサービス株式会社

**【英訳名】** HEIAN CEREMONY SERVICE CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 相馬 秀行

**【本店の所在の場所】** 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

**【電話番号】** 0463 - 34 - 2771 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 土屋 浩彦

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

**【電話番号】** 0463 - 34 - 2771 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 土屋 浩彦

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第44期 第1四半期 連結累計期間		第45期 第1四半期 連結累計期間		第44期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		2,348,206		2,175,623		9,669,111
経常利益 (千円)		486,875		337,963		1,927,664
四半期(当期)純利益 (千円)		294,785		201,713		1,121,254
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		284,923		188,275		1,162,815
純資産額 (千円)		12,128,584		12,945,205		12,888,270
総資産額 (千円)		28,156,910		28,752,492		29,357,849
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		22.44		15.36		85.37
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		43.1		45.0		43.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済の概況は、先行きについては輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現する中で、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待されております。しかしながら、海外景気の下振れが引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている状況でありました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強・新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### 冠婚事業

当事業では、インターネット媒体による広告活動を行い一般婚礼の集客強化に注力いたしました。また、前期リニューアルしたコルティール茅ヶ崎及びロイヤルマナーフォートベルジュールのバンケットホールにおいて、光と音の空間を演出する「サウンド・ファンタジア・ウェディング」を導入し一般婚礼の集客増を図ると共に、「ピア&カクテルパーティー」など婚礼外利用による周辺売上強化に注力いたしました。

その結果、婚礼一組単価は前年同期に比べ増加、婚礼組数及び宴会件数は減少となり、売上高は108百万円（前年同期比23.9%減少）となりました。

経費面では、今期よりロイヤルマナーフォートベルジュールの生花内製化をスタートし、両店舗において完全内製化を実施するなど、継続的なコスト改善に取り組んだ事により、原材料費比率が前年同期比で良化した結果、営業利益は8百万円（前年同期比63.8%減少）となりました。

#### 葬祭事業

当事業では、前期に引き続き中小規模の葬儀にも対応可能なフロア改装として、当第1四半期では湘和礼殯館栢山にご家族が故人にゆったりと寄り添える専用安置室「貴殯室」を新設し、幅広い施行規模に応じたレイアウトや料金プランを提供できるようサービスのラインナップ充実を図りました。

営業面では、施設見学会などのイベントを強化いたしました。創作料理の試食をはじめ実際に商品やサービスを体感していただくなど、よりきめ細やかな対応に注力すると共に、多くの方に参加いただくため、各施設の見学会実施数を増やし集客増に努めてまいりました。

営業エリアにおける死亡人口増加率は当初予測を下回る推移の中、シェア率が前年同期に比べ減少した結果、施行件数及び葬儀一件単価は前年同期比で減少となり、売上高は1,811百万円（前年同期比7.4%減少）、営業利益は486百万円（前年同期比16.7%減少）となりました。

#### 互助会事業

当事業では、売上高は59百万円（前年同期比11.7%減少）、営業利益は31百万円（前年同期比17.8%減少）となりました。

#### 介護事業

当事業では、売上高は252百万円（前年同期比2.3%増加）、営業利益は17百万円（前年同期比22.6%増加）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における、売上高は2,175百万円（前年同期比7.3%減少）となりました。また、前期末より実施している電算システムのハード・ソフト全面入れ替えによる費用の増加や、子会社調理部門の効率化のための改修による費用増加もあり、営業利益は303百万円（前年同期比33.4%減少）、経常利益は337百万円（前年同期比30.6%減少）、四半期純利益は201百万円（前年同期比31.6%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して605百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払により現金及び預金が277百万円減少、有価証券が償還、振替等により606百万円の減少となりました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が取得、振替等により280百万円増加しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して662百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が466百万円、未払金が132百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が52百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して56百万円の増加となりました。

### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,400,000
計	52,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引 所名又は登録認可 金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	14,667,000	14,667,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式単 元株式数は100株であります。
計	14,667,000	14,667,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日	-	14,667,000	-	785,518	-	2,838,393

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,532,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,132,500	131,325	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,600		同上
発行済株式総数	14,667,000		
総株主の議決権		131,325	

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。  
 また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。  
 2. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
平安レイサーサービス株式会社	神奈川県平塚市 桜ヶ丘1番35号	1,532,900	-	1,532,900	10.45
計		1,532,900	-	1,532,900	10.45

(注) 当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(自己株式等)」の欄に含めております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,607,439	6,330,405
売掛金	243,732	228,042
有価証券	7,207,190	6,600,384
商品及び製品	46,394	46,226
原材料及び貯蔵品	107,743	113,285
繰延税金資産	102,387	31,382
その他	103,931	196,015
貸倒引当金	1,654	1,656
流動資産合計	14,417,164	13,544,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,055,885	3,988,091
機械装置及び運搬具(純額)	73,777	80,106
工具、器具及び備品(純額)	161,378	162,199
土地	6,922,526	6,922,526
その他	32,656	73,300
有形固定資産合計	11,246,224	11,226,225
無形固定資産	45,414	41,948
投資その他の資産		
投資有価証券	912,063	1,192,546
長期貸付金	39,500	39,500
長期預金	600,000	600,000
繰延税金資産	281,479	299,295
その他	1,816,002	1,808,889
投資その他の資産合計	3,649,045	3,940,232
固定資産合計	14,940,684	15,208,405
資産合計	29,357,849	28,752,492



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	214,242	170,602
未払法人税等	520,761	53,811
掛金解約手数料戻し損失引当金	9,712	6,062
その他	797,202	703,004
流動負債合計	1,541,917	933,480
固定負債		
繰延税金負債	41,300	38,480
退職給付引当金	67,570	69,666
役員退職慰労引当金	86,102	85,764
資産除去債務	97,890	98,419
前払式特定取引前受金	14,609,274	14,556,350
その他	25,522	25,123
固定負債合計	14,927,660	14,873,805
負債合計	16,469,578	15,807,286
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	9,921,438	9,991,811
自己株式	670,468	670,468
株主資本合計	12,874,881	12,945,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,389	48
その他の包括利益累計額合計	13,389	48
純資産合計	12,888,270	12,945,205
負債純資産合計	29,357,849	28,752,492

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,348,206	2,175,623
売上原価	1,594,499	1,541,486
売上総利益	753,707	634,137
販売費及び一般管理費	297,876	330,643
営業利益	455,831	303,493
営業外収益		
受取利息	6,193	8,504
受取配当金	1,167	1,217
掛金解約手数料	7,517	10,248
掛金解約手数料戻し損失引当金戻入益	-	2,169
その他	18,220	15,305
営業外収益合計	33,098	37,444
営業外費用		
供託委託手数料	1,338	1,428
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	91	-
保険解約損	105	1,126
その他	519	420
営業外費用合計	2,054	2,975
経常利益	486,875	337,963
税金等調整前四半期純利益	486,875	337,963
法人税、住民税及び事業税	125,298	78,166
法人税等調整額	66,791	58,083
法人税等合計	192,089	136,249
少数株主損益調整前四半期純利益	294,785	201,713
四半期純利益	294,785	201,713

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	294,785	201,713
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9,862	13,437
その他の包括利益合計	9,862	13,437
四半期包括利益	284,923	188,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,923	188,275
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	112,279千円	113,131千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月23日 定時株主総会	普通株式	131,340	10	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月24日 定時株主総会	普通株式	131,340	10	平成25年3月31日	平成25年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	142,260	1,957,374	779	246,564	2,346,979	1,227	2,348,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高			66,855		66,855		66,855
計	142,260	1,957,374	67,634	246,564	2,413,834	1,227	2,415,062
セグメント利益	23,342	584,124	37,741	13,910	659,118	156	659,275

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	659,118
「その他」の区分の利益	156
全社費用(注)	203,444
四半期連結損益計算書の営業利益	455,831

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	108,215	1,811,873	1,716	252,321	2,174,126	1,497	2,175,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	58,016	-	58,016	-	58,016
計	108,215	1,811,873	59,732	252,321	2,232,142	1,497	2,233,640
セグメント利益	8,461	486,358	31,025	17,052	542,898	288	543,187

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	542,898
「その他」の区分の利益	288
全社費用(注)	239,693
四半期連結損益計算書の営業利益	303,493

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	22円44銭	15円36銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	294,785	201,713
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	294,785	201,713
普通株式の期中平均株式数(株)	13,134,042	13,134,033

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 7日

平安レイサーサービス株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水野 雅史 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 五十嵐 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている平安レイサーサービス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、平安レイサーサービス株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。